



Gryphon® I GD4130
QuickScan® I QD2100
PowerScan® PD7100



スキャナ設定ガイド

IDEC DATALOGIC 株式会社
大阪市淀川区三国本町 1 丁目 10 番 40 号

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で複製・配布することを禁じます。本書の内容は予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。本書の内容には万全を期していますが内容を保証するものではありません。ご不審な点や誤り記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご購入された販売店もしくは IDEC DATALOGIC までお問合せ下さい。また、本書を利用した結果の影響については責任を負いかねますのでご了承下さい。

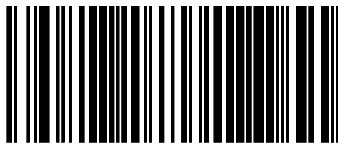
目次

1. 初期設定およびユーザー設定	5
初期設定	5
カスタム設定	5
ソフトウェアバージョン	5
2. RS-232, USB-COM 設定	6
インターフェイスの選択	6
通信ボーレート (RS232 のみ設定可能)	7
パリティ (RS232 のみ設定可能)	8
データビット (RS232 のみ設定可能)	8
ストップビット (RS232 のみ設定可能)	9
ハンドシェイク (RS232 のみ設定可能)	9
ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)	10
ACK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	10
NAK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	11
ACK NAK タイムアウト (RS232, USB-COM 設定可能)	11
ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)	12
有効/無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)	12
3. キーボードウェッジ, USB キーボード	13
インターフェイスの選択	13
キーボード言語	14
Caps Lock	14
キャラクタ間遅延	15
4. 機能設定	16
2度読み防止時間	16
読取モード設定	17
スリープモード設定	18
読取表示	19
読取確認音	19
読取確認音質	20
読取確認音長さ	20
読取確認音量	21
読取確認 LED 表示	21
グリーンスポット表示	22
5. バーコード設定	23
EAN13	23
EAN13 チェックデジット送信	23
EAN13 デコード検証回数	24
EAN 8	25
EAN 8 チェックデジット送信	25
EAN 8 EAN 8 EAN 13 変換	25
EAN 8 デコード検証回数	26
UPC-A/UPC-E	27
UPC-A	27
UPC-A チェックデジット送信	27
UPC-A EAN 13 変換	27
UPC-E	28
UPC-E チェックデジット送信	28
UPC-E EAN 13 変換	28
UPC-E UPC-A 変換	29
UPC-E デコード検証回数	29
GTIN 変換	30
EAN / UPC アドオン	30
Code39	31
Code39 チェックデジット計算	31

Code39 チェックデジット送信	31
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信	32
Code39 Full ASCII 変換	32
Code39 デコード検証回数	33
Code39 桁数	34
Code39 桁数設定	34
GS1 128 / Code 128	35
GS1 128/ Code128 チェックデジット送信	36
GS1 128/ Code128 デコード検証回数	36
GS1 128/ Code128 桁数	37
GS1 128/Code128 桁数設定	37
12 OF 5	38
12 OF 5 チェックデジット計算	38
12 OF 5 チェックデジット送信	39
12 OF 5 デコード検証回数	39
12 OF 5 桁数	40
12 OF 5 桁数設定	40
CODABAR	41
CODABAR チェックデジット計算	41
CODABAR チェックデジット送信	41
CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信	42
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット	42
CODABAR デコード検証回数	43
CODABAR 桁数	44
CODABAR 桁数設定	44
Code93	45
Code93 チェックキャラクタ計算	45
Code93 チェックキャラクタ送信	46
Code93 デコード検証回数	46
Code93 桁数	47
Code93 桁数設定	47
GS1 DataBar オムニディレクショナル	48
GS1 DataBar オムニディレクショナル EAN128 エミュレーション	48
GS1 DataBar オムニディレクショナルデコード検証回数	49
GS1 DataBar Expanded	50
GS1 DataBar Expanded EAN128 エミュレーション	50
GS1 DataBar Expanded デコード検証回数	51
GS1 DataBar Expanded デコード桁数	52
GS1 DataBar Expanded 桁数設定	52
GS1 DataBar Limited	53
GS1 DataBar Limited EAN128 エミュレーション	53
GS1 DataBar Limited デコード検証回数	54
6. データ編集	55
データ編集の概要	55
ヘッダー / ターミネータ	55
AIM ID	56
ラベル ID	56
ラベル ID コントロール	56
ラベル ID セット	57
付録 A. LED 表示とビーパー音	61
付録 B. 初期値一覧	61
付録 C. キーパッド	63
付録 D. ASCII チャート	65

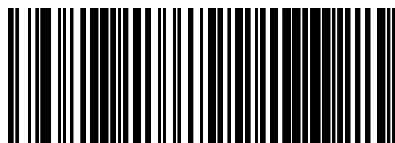
1. 初期設定およびユーザー設定

初期設定

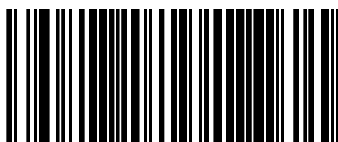


設定を工場出荷時に戻す

カスタム設定

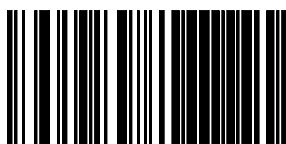


設定をカスタム設定に戻す



カスタム設定をする

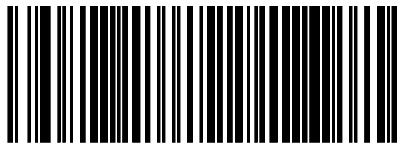
ソフトウェアバージョン



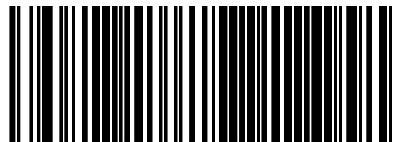
ソフトウェアバージョン送信

2. RS-232, USB-COM 設定

インターフェイスの選択



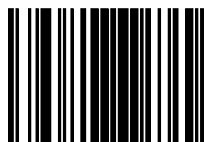
RS232



USB-COM

USB-COM インターフェイスは別途ドライバーソフトが必要です。ドライバーソフトと動作環境につきましては、ご購入された販売店もしくはデータロジックスキャニングまでお問合せ下さい。環境により動作しない場合もありますので、必ず動作確認を行うようお願いいたします。

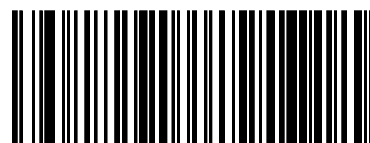
通信ボーレート (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



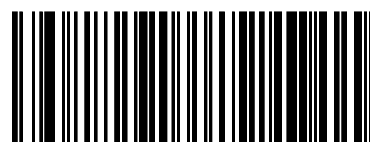
1200bps



2400bps



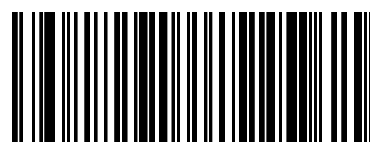
4800bps



9600bps (初期値)



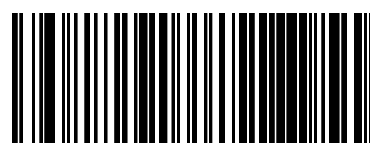
19200bps



38400bps



57600bps



115200bps

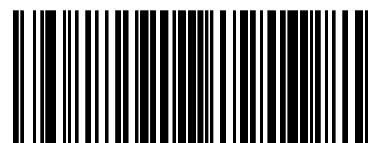
パリティ (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



なし (初期値)



Even



Odd

データビット (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



7bit

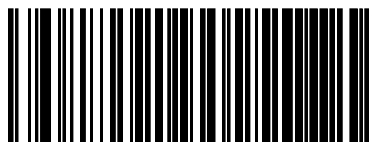


8bit (初期値)

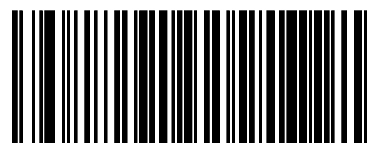
ストップビット (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了

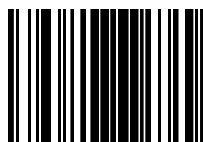


1bit (初期値)

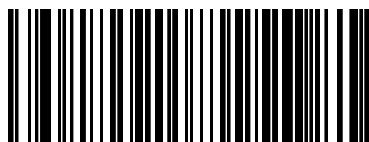


2bit

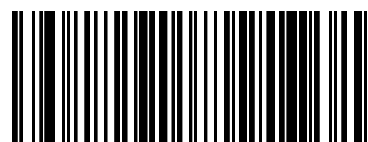
ハンドシェイク (RS232のみ設定可能)



設定開始/終了



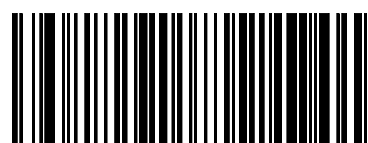
RTS (初期値)



RTS/CTS



RTS/XON/XOFF

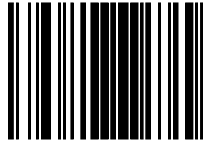


RTS On/CTS

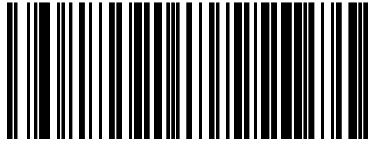


RTS/CTS Scan Control

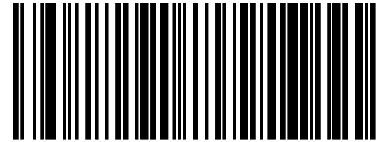
ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)



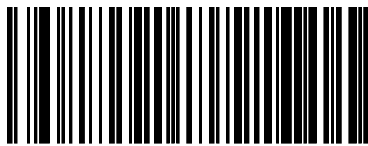
設定開始/終了



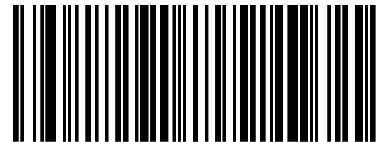
ACK/NAK 無効 (初期値)



ACK/NAK 有効(ラベル送信)



ACK/NAK 有効(ホストコマンド)



ACK/NAK 有効(ラベル送信 & ホストコマンド)

ACK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)

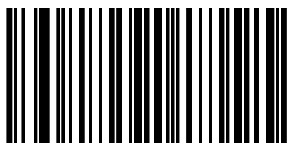
ACK キャラクタを設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した2桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します

例) 06 ACK (初期値)
 24 \$
 3E >



設定開始/終了



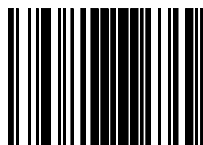
ACK キャラクタ設定

NAK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)

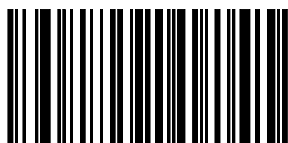
NAK キャラクタを設定します。

設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した2桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します

例) 15 NAK (初期値)
 24 \$
 3E >



設定開始/終了



NAK キャラクタ設定

ACK NAK タイムアウト (RS232, USB-COM 設定可能)

ACK NAK タイムアウト時間を設定します。

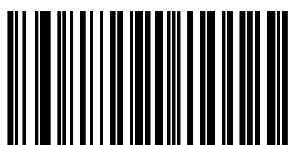
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

設定範囲は 0.2～15.0sec まで 0.2sec 単位で設定可能です。

例) 01 0.2sec (初期値)
 05 1.0sec
 26 5.2sec



設定開始/終了

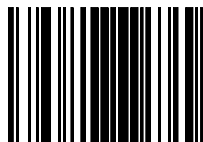


ACK NAK タイムアウト設定

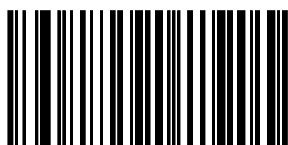
ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)

ACK NAK リトライ回数を設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて3桁の数値を入力します。
設定範囲は0 ~ 254 回及び無制限まで設定可能です。

例) 000 0 回
 003 3 回 (初期値)
 255 無制限



設定開始/終了



ACK NAK リトライ回数

有効/無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)

スキヤナの有効/無効コマンドキャラクタを設定します。
各設定ラベルを読取後、巻末の「ASCII チャート」に記載されているキャラクタに対応した2桁の数値 HEX.No を「キーパッド」を用いて入力します。

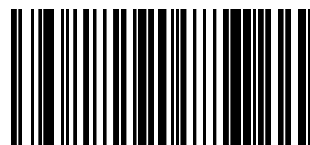
例) 44 D (無効初期値)
 45 E (有効初期値)
 7D }
 FF キャラクタを設定しない



設定開始/終了



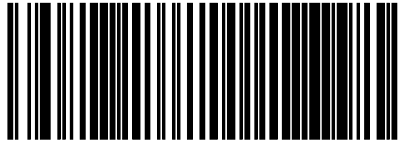
有効コマンド



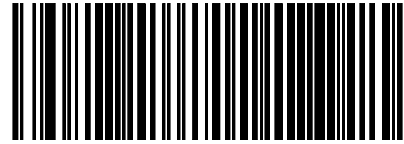
無効コマンド

3. キーボードウエッジ, USB キーボード

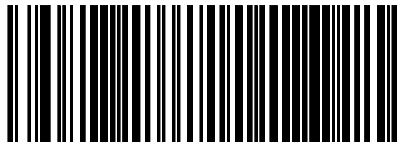
インターフェイスの選択



デスクトップキーボード



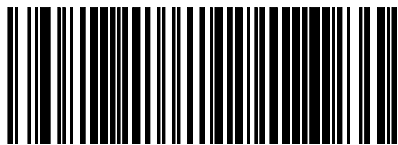
デスクトップキーボード(ALT モード)



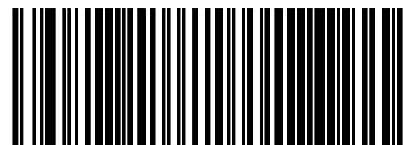
ノートブックキーボード



ノートブックキーボード(ALT モード)

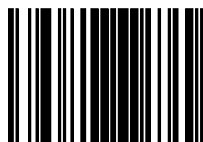


USB キーボード



USB キーボード(ALT モード)

キーボード言語



設定開始/終了

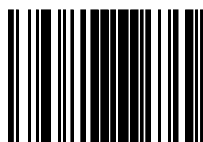


日本語 106 キー

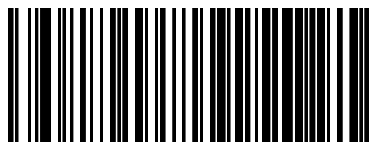


米国 (初期値)

Caps Lock



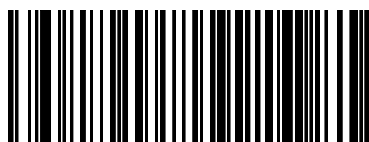
設定開始/終了



Caps Lock OFF



Caps Lock ON

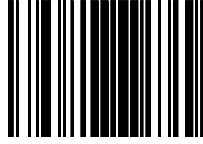


AUTO Caps Lock Enable

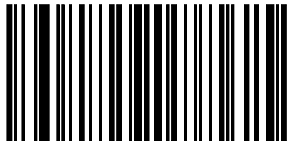
キャラクタ間遅延

キャラクタ間の遅延時間を設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。
設定範囲は0 ~ 990msec まで 10msec 単位で設定可能です。

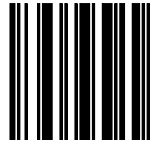
例) 00 0msec (初期値)
 15 150msec
 85 850msec



設定開始/終了



キャラクタ間遅延時間

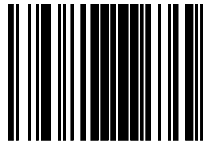


キャンセル

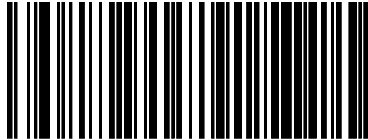
4. 機能設定

2度読み防止時間

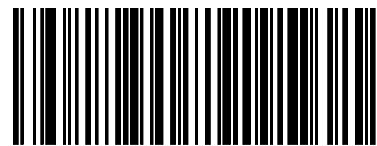
同一バーコードの2度読み防止をする時間の設定をします。



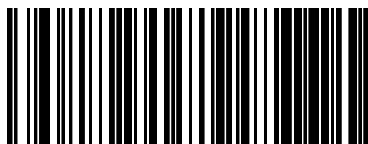
設定開始/終了



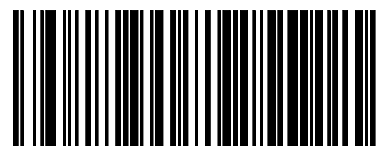
0.2sec



(初期値)0.4sec



0.6sec



0.8sec

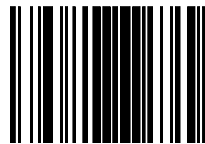


1sec

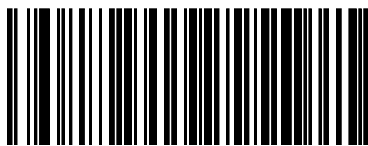
読取モード設定

スキャナの読取モードを設定します。

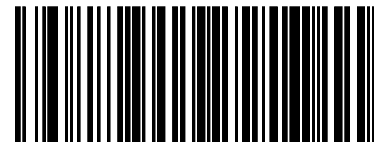
- ・ 標準トリガー：一般的なハンドヘルドスキャナの操作となります。トリガーを引き、下記状態になるまで読取可能になります
 - 約 5 秒間経過したとき
 - バーコードを読み取ったとき
 - トリガーを放したとき
- ・ トリガーホールド：トリガーを引いている間はバーコードを複数回読取可能です。但し、約 5 秒間読み取りがないと OFF となります。2 度読み防止時間が有効となります。
- ・ フラッシュ：約 1 秒毎に ON-OFF を繰り返します。
- ・ 常時 ON：トリガーを引くことなく常時 ON となります。2 度読み防止時間が有効となります。
- ・ スタンドモード：トリガーを引くことなくバーコードを近づけたときに自動的に読み取りをします。読み取りがない時は緑色スポット ON となります。この状態でトリガーを引いたときは、標準トリガーと同様の機能となります



設定開始/終了



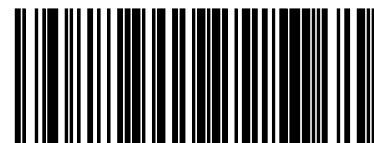
標準トリガー（初期値）



トリガーホールド



フラッシュ

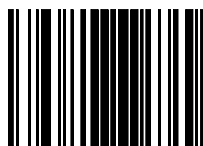


常時 ON

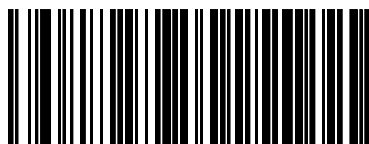


スタンド

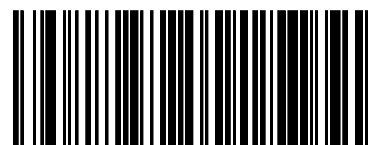
スリープモード設定



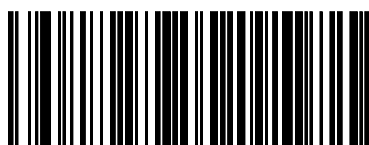
設定開始/終了



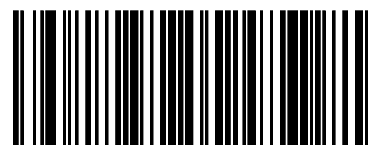
(初期値)無効



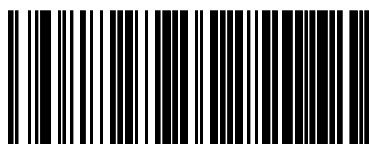
2sec



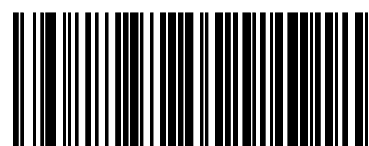
4sec



6sec



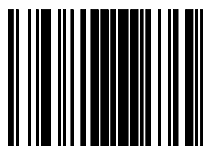
8sec



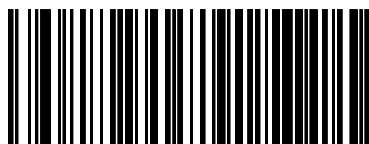
9.9sec

読取表示

読取確認の表示するタイミングを設定します



設定開始/終了



デコード後(初期値)



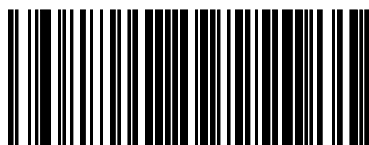
データ送信後

読取確認音

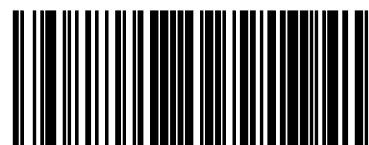
読取確認音の種類を設定します



設定開始/終了



モノラル(初期値)



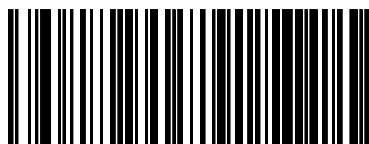
ステレオ

読取確認音質

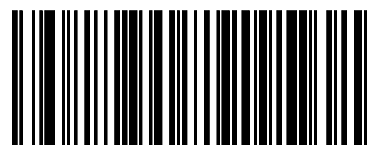
読取確認音質の種類を設定します



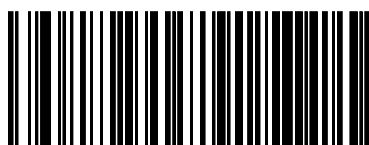
設定開始/終了



低音



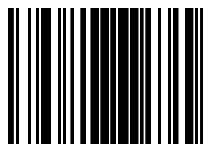
中音



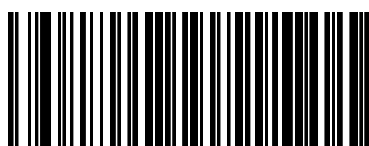
高音(初期値)

読取確認音長さ

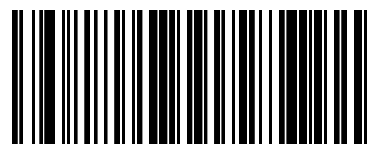
読取確認音質の種類を設定します



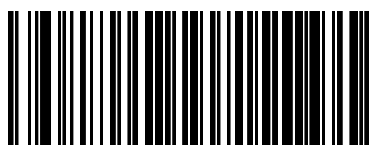
設定開始/終了



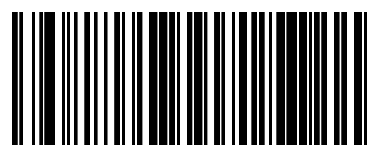
80msec(初期値)



120msec



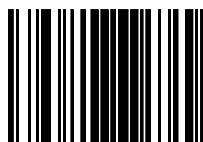
160msec



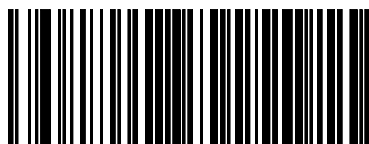
200msec

読取確認音量

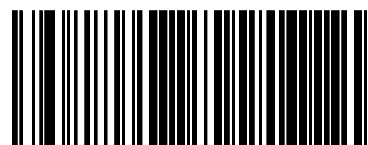
読取確認音量を設定します



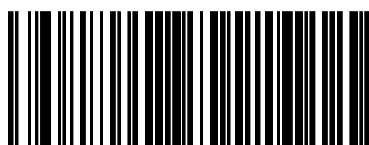
設定開始/終了



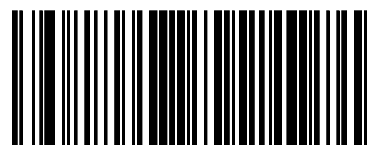
OFF



小



中



大 (初期値)

読取確認 LED 表示

読取確認後の本体緑色 LED 表示時間を設定します。

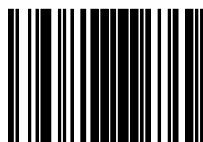
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて 3 桁の数値を入力します。

設定範囲は 0.1～25.5sec およびトリガーを引くまで表示が設定可能です。

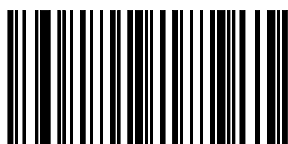
例) 000 トリガーを引くまで表示

020 2sec (初期値)

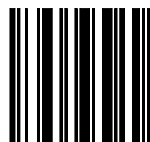
255 25.5sec



設定開始/終了



LED 表示設定



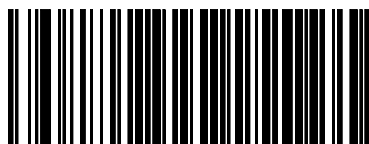
キャンセル

グリーンスポット表示

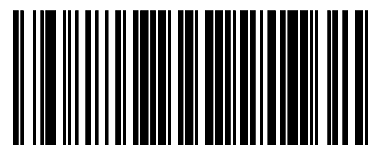
読取確認グリーンスポット表示長さを設定します。



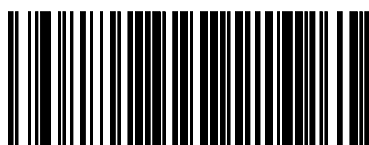
設定開始/終了



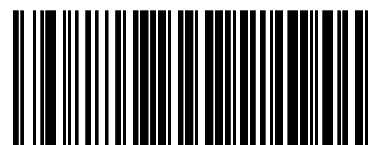
OFF



300msec (初期値)



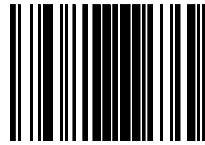
500msec



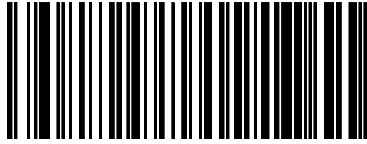
800msec

5. バーコード設定

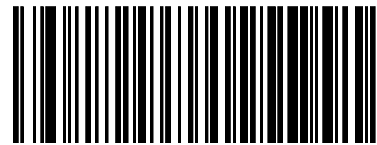
EAN13



設定開始/終了

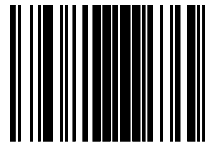


EAN-13 有効 (初期値)

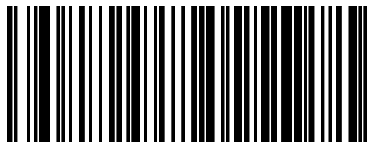


EAN-13 無効

EAN13 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

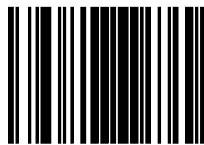


送信有効 (初期値)

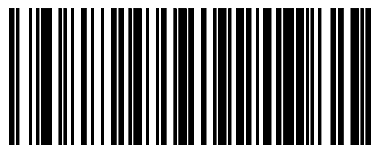
EAN13 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

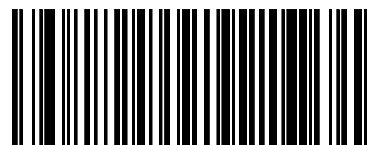
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



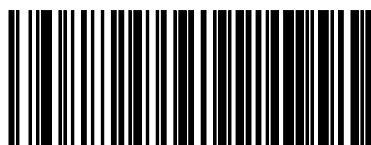
設定開始/終了



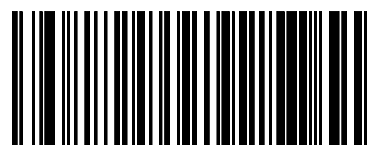
1回 (初期値)



2回

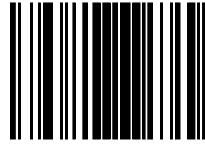


3回

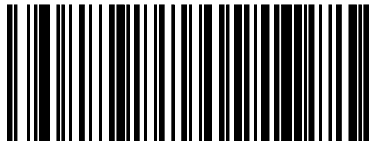


4回

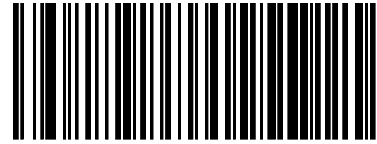
EAN 8



設定開始/終了

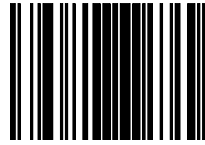


EAN 8 有効 (初期値)

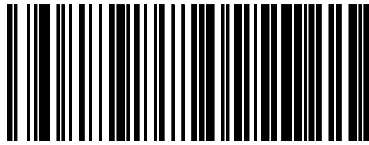


EAN 8 無効

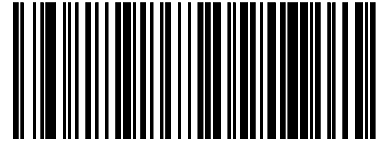
EAN 8 チェックデジット送信



設定開始/終了

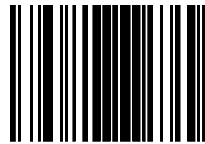


送信無効

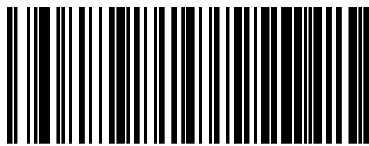


送信有効 (初期値)

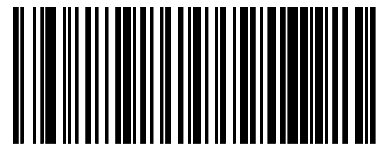
EAN 8 EAN 8 EAN 13 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

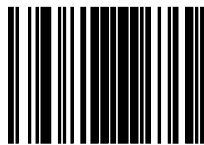


変換有効

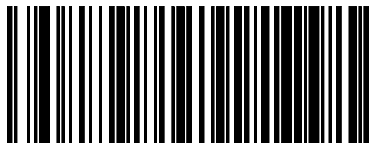
EAN 8 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

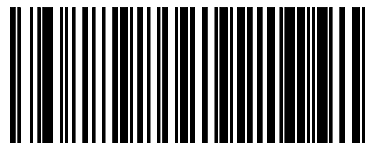
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



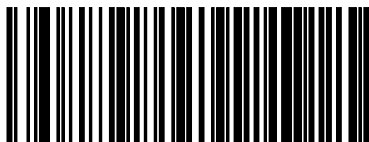
設定開始/終了



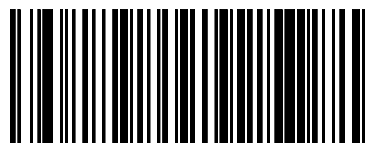
1回 (初期値)



2回



3回

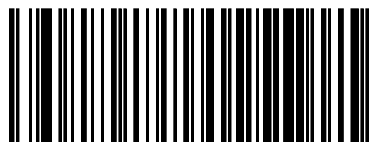


4回

UPC-A/UPC-E
UPC-A



設定開始/終了

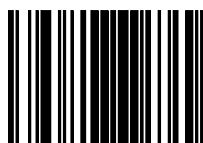


UPC-A 無効

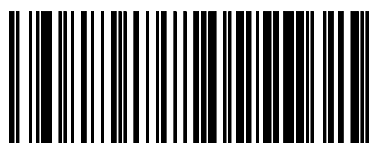


UPC-A 有効(初期値)

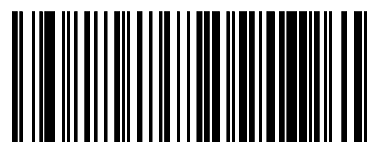
UPC-A チェックデジット送信



設定開始/終了

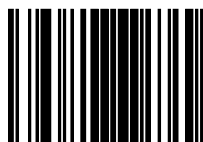


送信無効

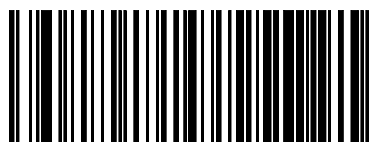


送信有効 (初期値)

UPC-A EAN 13 変換



設定開始/終了

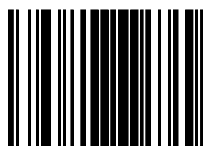


変換無効 (初期値)



変換有効

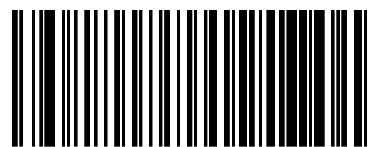
UPC-E



設定開始/終了



UPC-E 無効



UPC-E 有効(初期値)

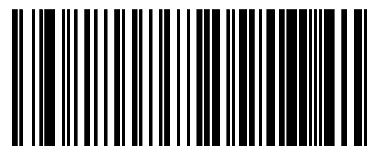
UPC-E チェックデジット送信



設定開始/終了

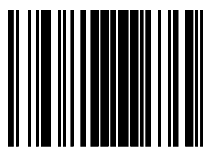


送信無効



送信有効 (初期値)

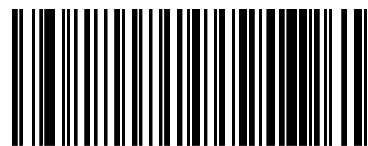
UPC-E EAN 13 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)



変換有効

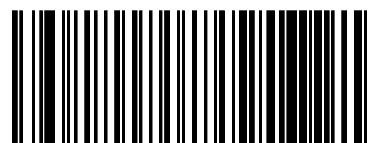
UPC-E UPC-A 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

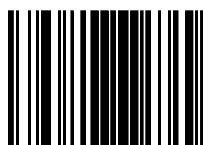


変換有効

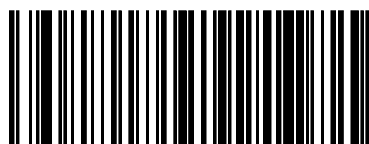
UPC-E デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

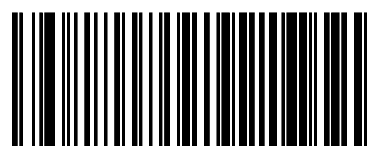
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



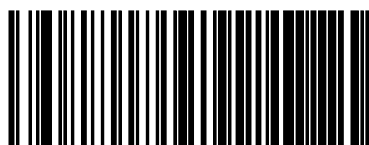
設定開始/終了



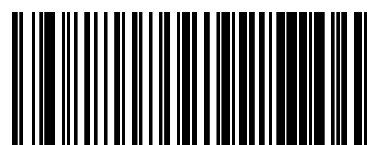
1 回



2 回 (初期値)



3 回



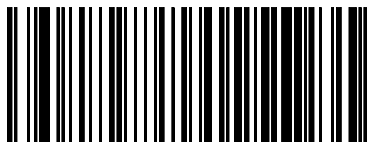
4 回

GTIN 変換

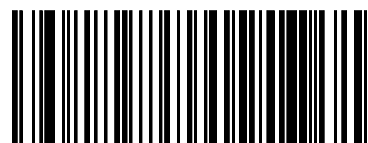
EAN13,EAN8,UPC-A,UPC-E を GTIN 14 桁の形式に変換の設定をします。



設定開始/終了

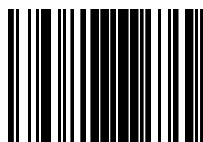


変換無効 (初期値)

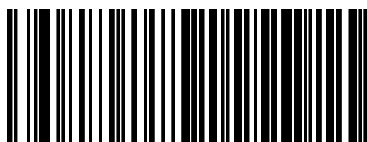


変換有効

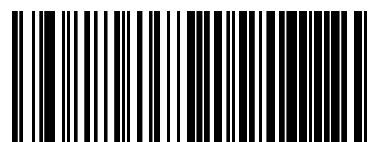
EAN / UPC アドオン



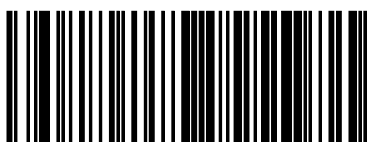
設定開始/終了



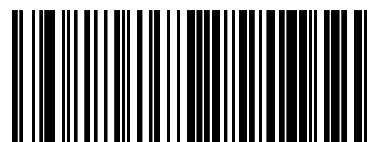
2桁無効 (初期値)



2桁有効

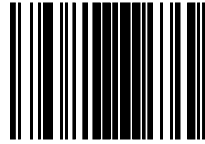


5桁無効 (初期値)



5桁有効

Code39

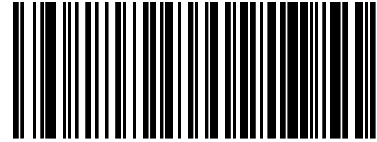


設定開始/終了

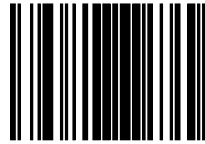


Code39 無効

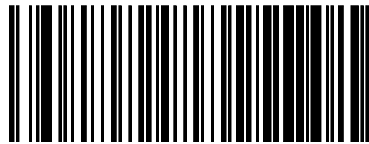
Code39 有効 (初期値)



Code39 チェックデジット計算

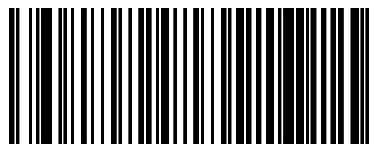
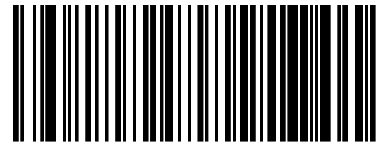


設定開始/終了



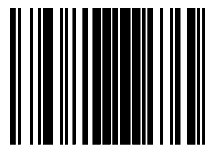
無効

標準 (初期値)

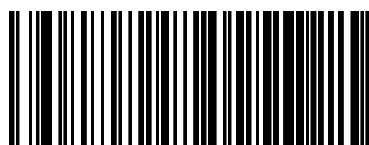


Mod 7

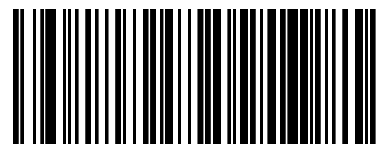
Code39 チェックデジット送信



設定開始/終了

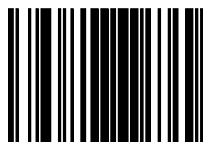


送信無効



送信有効 (初期値)

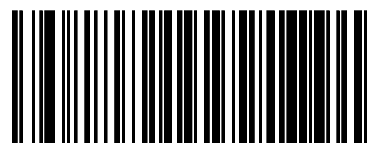
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信



設定開始/終了

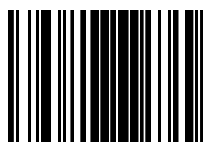


送信無効

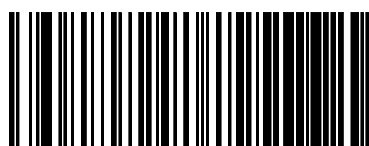


送信有効 (初期値)

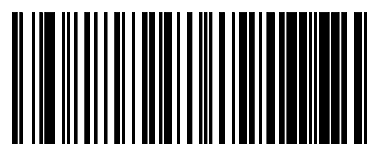
Code39 Full ASCII 変換



設定開始/終了



変換無効 (初期値)

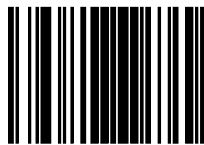


変換有効

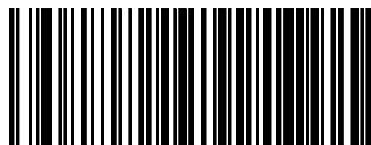
Code39 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

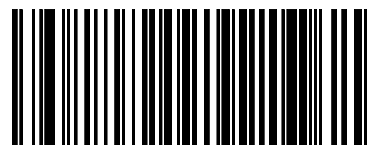
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



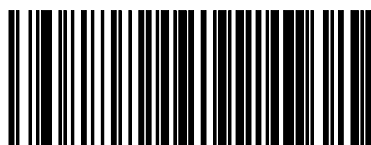
設定開始/終了



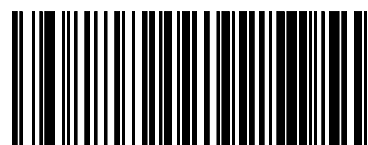
1回 (初期値)



2回



3回

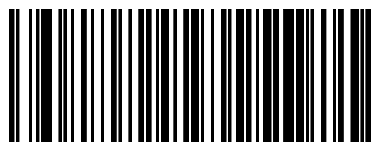


4回

Code39 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

Code39 桁数設定

- 桁数設定は最小桁数と最大桁数の数字をそれぞれ 2 桁の数字で入力します。
- 最小桁数は 01 から、最大桁数 50 までの設定が可能です。
- 桁数を固定する場合は最小/最大桁数に同一の数値を入力します。
- それぞれ最小・最大桁数設定ラベルを読取後、巻末付録C「キーパッド」を用いて数字バーコード 2 桁の数値を入力します。
- 誤った入力を行った場合、エラー音（ピピピ）を出力しますので、キャンセルのバーコードを読ませて最初から登録願います。

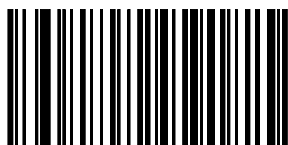
例) 最小 2 桁の場合 最大 10 桁の登録を行う場合

最小のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード 02 を読ませます。

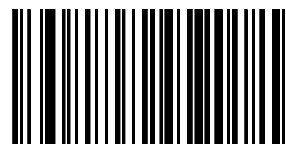
次に最大のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード 10 を読ませます。



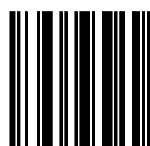
設定開始/終了



最小

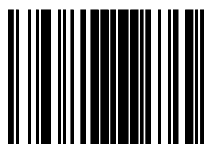


最大



キャンセル

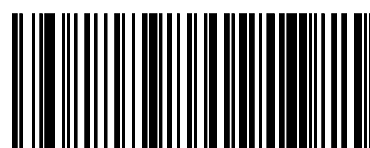
GS1 128 / Code 128



設定開始/終了



GS128/Code128 無効



GS128/Code128 有効 (初期値)



GS1 128(EAN128)のみ無効

GS1 128 (EAN128) 出力フォーマット

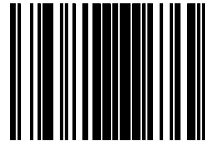


GS1 128 フォーマットから Code 128 フォーマットでの出力

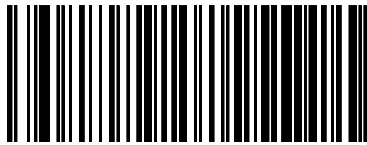


GS1 128 フォーマットでの出力(初期値)

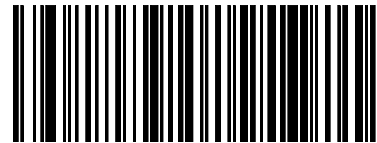
GS1 128/ Code128 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効 (初期値)

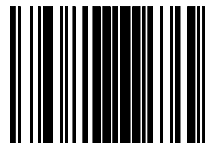


送信有効

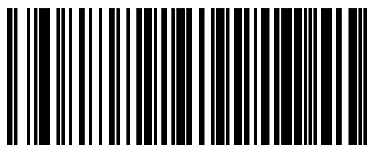
GS1 128/ Code128 デコード検証回数

読取データ的一致回数を設定します。

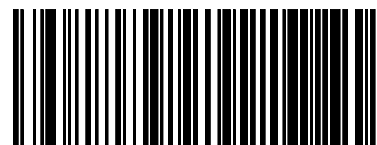
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



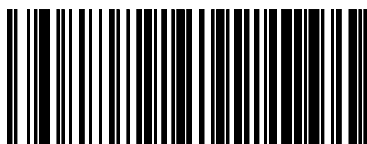
設定開始/終了



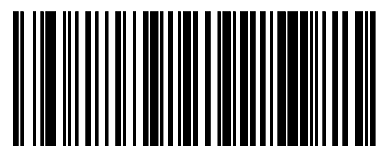
1回 (初期値)



2回

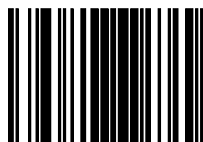


3回

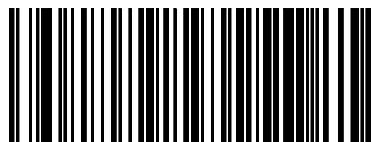


4回

GS1 128/ Code128 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

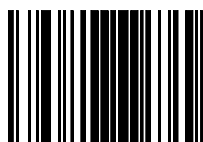
GS1 128/Code128 桁数設定

- 桁数設定は最小桁数と最大桁数の数字をそれぞれ 2 桁の数字で入力します。
- 最小桁数は 01 から、最大桁数 80 までの設定が可能です。
- 桁数を固定する場合は最小/最大桁数に同一の数値を入力します。
- それぞれ最小・最大桁数設定ラベルを読取後、巻末付録C「キーパッド」を用いて数字バーコード 2 桁の数値を入力します。
- 誤った入力を行った場合、エラー音（ピピピ）を出力しますので、キャンセルのバーコードを読ませて最初から登録願います。

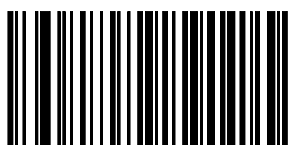
例) 最小 01 桁の場合 最大 48 桁の登録を行う場合

最小のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード 01 を読ませます。

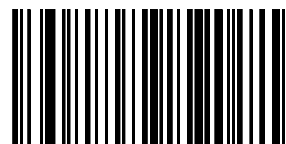
次に最大のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード 48 を読ませます。



設定開始/終了



最小

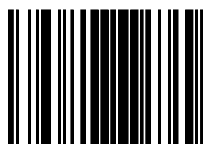


最大

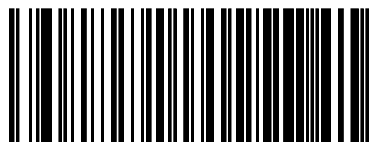


キャンセル

12 OF 5



設定開始/終了



12 OF 5 無効 (初期値)

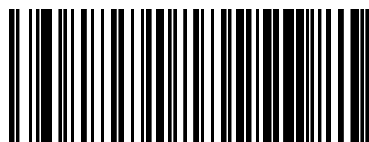


12 OF 5 有効

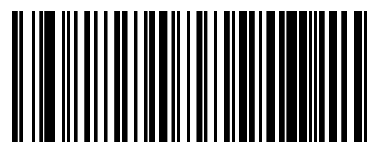
12 OF 5 チェックデジット計算



設定開始/終了



無効 (初期値)

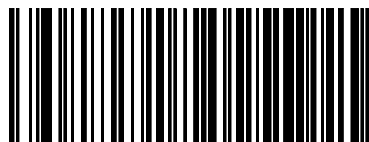


Mod10

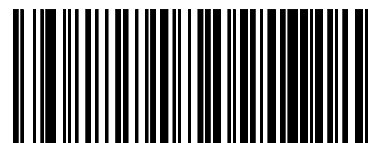
12 OF 5 チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

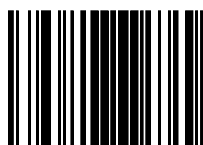


送信有効 (初期値)

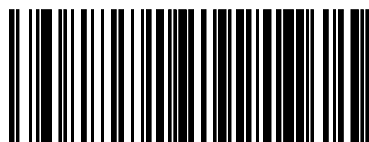
12 OF 5 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



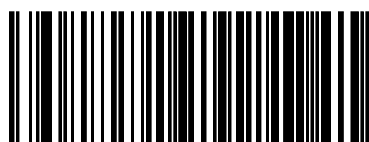
設定開始/終了



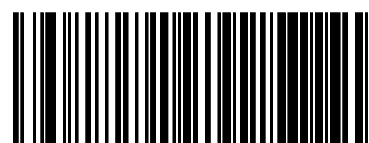
1回 (初期値)



2回



3回

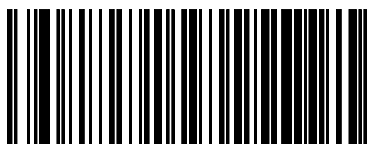


4回

12 OF 5 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

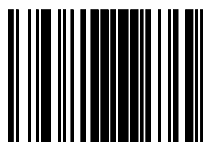
12 OF 5 桁数設定

- 桁数設定は最小桁数と最大桁数の数字をそれぞれ2桁の数字で入力します。
- 最小桁数は02から、最大桁数50までの設定が可能です。
- 桁数を固定する場合は最小/最大桁数に同一の数値を入力します。
- それぞれ最小・最大桁数設定ラベルを読取後、巻末付録C「キーパッド」を用いて数字バーコード2桁の数値を入力します。
- 誤った入力を行った場合、エラー音（ピピピ）を出力しますので、キャンセルのバーコードを読ませて最初から登録願います。このコードは常に偶数桁となるので、桁数を奇数に設定した場合はエラー音は出力されませんので、キャンセルのバーコードを読ませて再設定願います。

例) 最小2桁の場合 最大10桁の登録を行う場合

最小のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード02を読ませます。

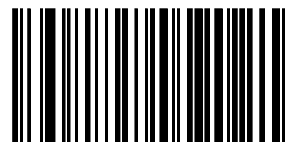
次に最大のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード10を読ませます。



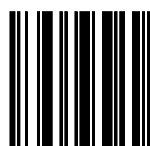
設定開始/終了



最小

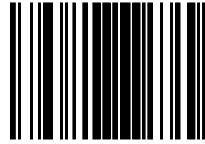


最大

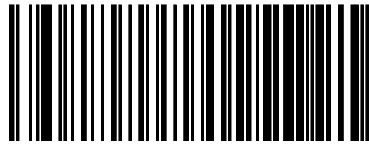


キャンセル

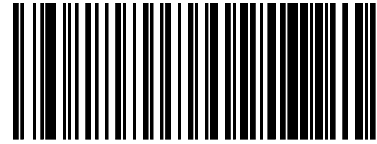
CODABAR



設定開始/終了

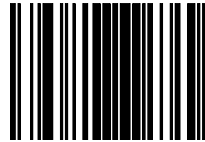


CODABAR 無効 (初期値)

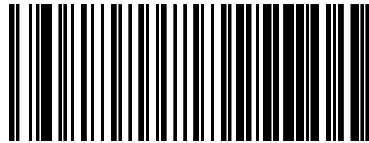


CODABAR 有効

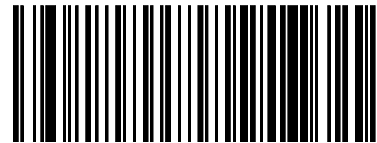
CODABAR チェックデジット計算



設定開始/終了

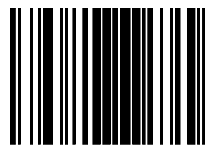


無効 (初期値)

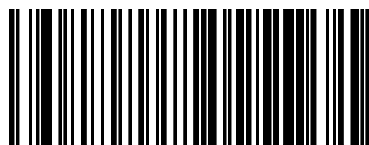


有効

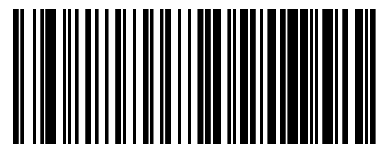
CODABAR チェックデジット送信



設定開始/終了



送信無効

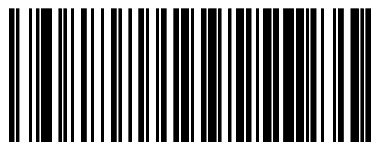


送信有効 (初期値)

CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信



設定開始/終了

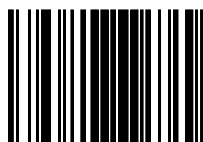


送信無効 (初期値)

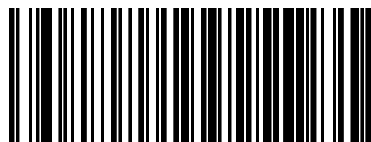


送信有効

CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット



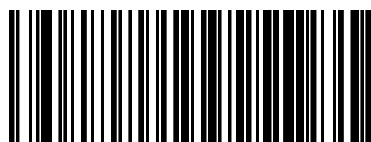
設定開始/終了



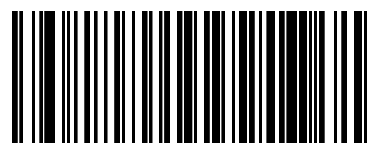
ABCD/TN*E



ABCD/ABCD



abcd/tn*e

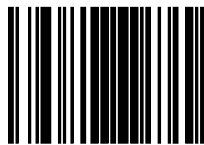


Abcd/abcd (初期値)

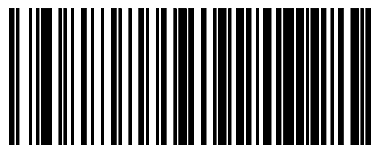
CODABAR デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

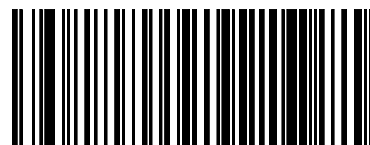
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



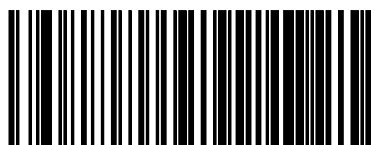
設定開始/終了



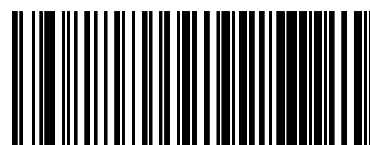
1回 (初期値)



2回



3回

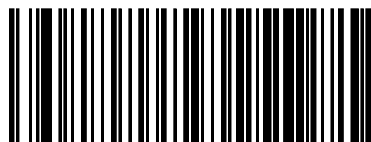


4回

CODABAR 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

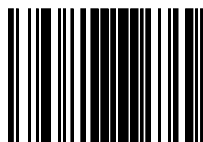
CODABAR 桁数設定

- 桁数設定は最小桁数と最大桁数の数字をそれぞれ 2 桁の数字で入力します。
- 最小桁数は 03 から、最大桁数 50 までの設定が可能です。
- 桁数を固定する場合は最小/最大桁数に同一の数値を入力します。
- それぞれ最小・最大桁数設定ラベルを読取後、巻末付録 C 「キーパッド」を用いて数字バーコード 2 桁の数値を入力します。
- 誤った入力を行った場合、エラー音（ピピピ）を出力しますので、キャンセルのバーコードを読ませて最初から登録願います。

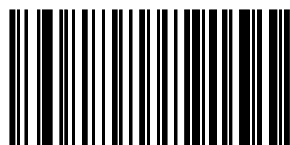
例) 最小 4 桁の場合 最大 10 桁の登録を行う場合

最小のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード 04 を読ませます。

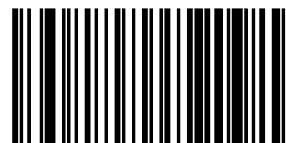
次に最大のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード 10 を読ませます。



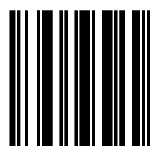
設定開始/終了



最小

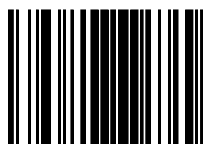


最大



キャンセル

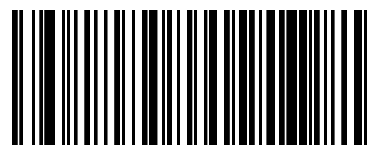
Code93



設定開始/終了



Code93 無効(初期値)



Code93 有効

Code93 チェックキャラクタ計算



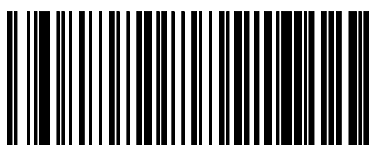
設定開始/終了



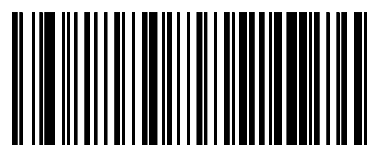
無効



キャラクタ “C”

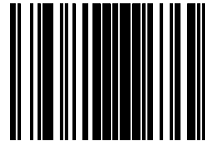


キャラクタ “K”

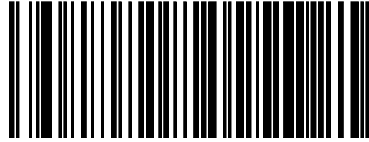


キャラクタ “C 及び K”
(初期値)

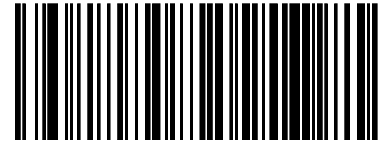
Code93 チェックキャラクタ送信



設定開始/終了



送信無効

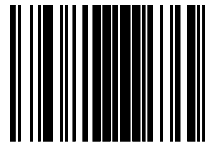


送信有効(初期値)

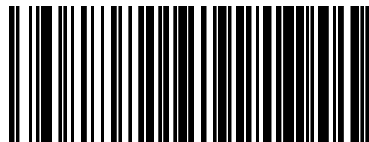
Code93 デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

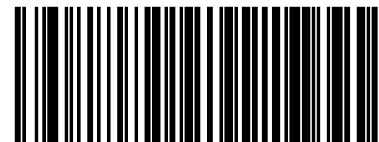
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



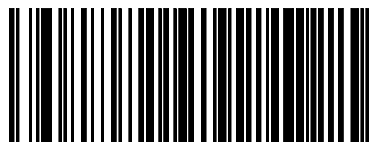
設定開始/終了



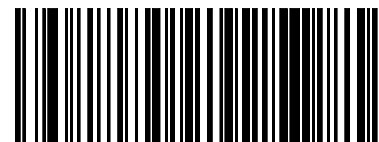
1回 (初期値)



2回



3回

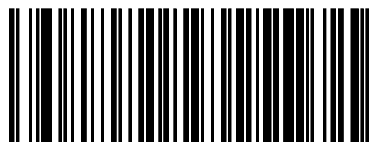


4回

Code93 桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)

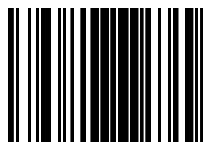


固定

Code93 桁数設定

桁数を可変にした場合の最小最大桁数、および固定桁数を2種設定します。
設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いて2桁の数値を入力します。

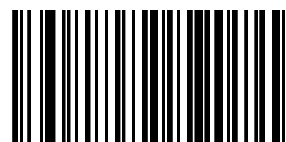
例) 01 1 桁 (桁数設定 1)
 15 15 桁
 50 50 桁 (桁数設定 2)



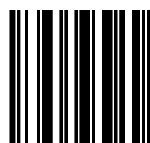
設定開始/終了



桁数設定 1



桁数設定 2

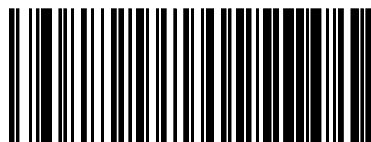


キャンセル

GS1 DataBar オムニディレクショナル



設定開始/終了

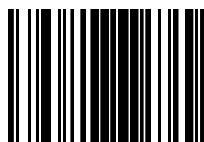


GS1 DataBar オムニディレクショナル無効 (初期値)

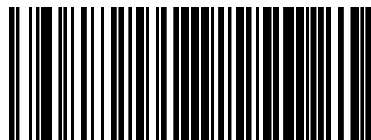


GS1 DataBar オムニディレクショナル有効

GS1 DataBar オムニディレクショナル EAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

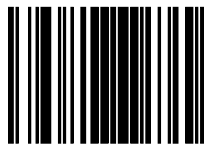


有効

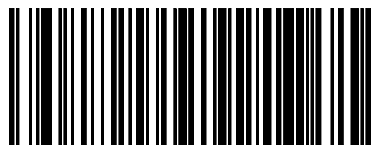
GS1 DataBar オムニディレクショナルデコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

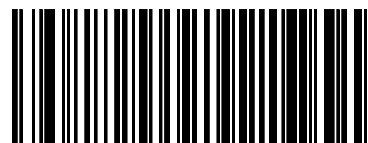
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



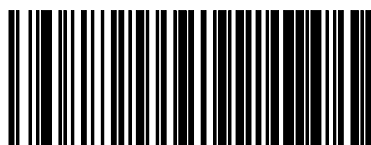
設定開始/終了



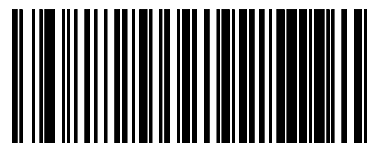
1回 (初期値)



2回

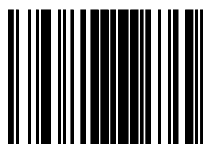


3回



4回

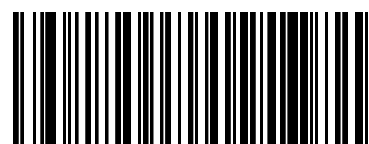
GS1 DataBar Expanded



設定開始/終了

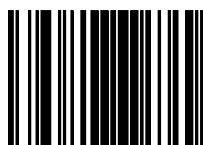


GS1DataBar Expanded 無効 (初期値)

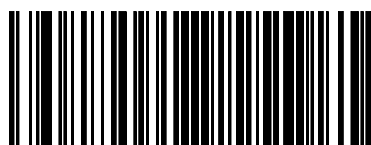


GS1 DataBarExpanded 有効

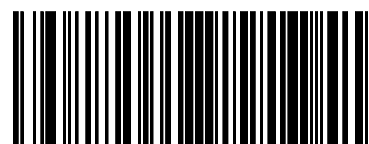
GS1 DataBar Expanded EAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

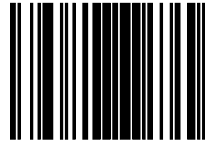


有効

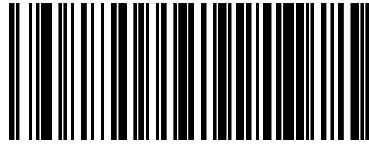
GS1 DataBar Expanded デコード検証回数

読取データの一致回数を設定します。

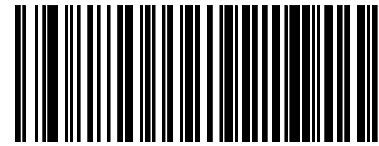
検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



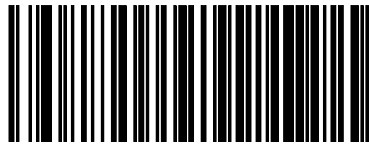
設定開始/終了



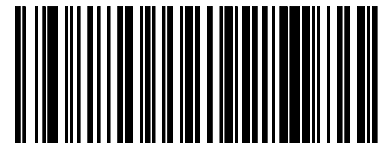
1回 (初期値)



2回



3回

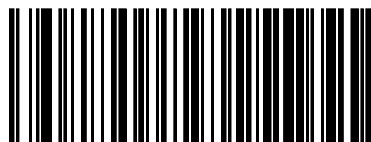


4回

GS1 DataBar Expanded デコード桁数



設定開始/終了



可変 (初期値)



固定

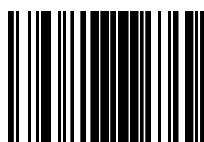
GS1 DataBar Expanded 桁数設定

- 桁数設定は最小桁数と最大桁数の数字をそれぞれ2桁の数字で入力します。
- 最小桁数は01から、最大桁数74までの設定が可能です。
- 桁数を固定する場合は最小/最大桁数に同一の数値を入力します。
- それぞれ最小・最大桁数設定ラベルを読取後、巻末付録C「キーパッド」を用いて数字バーコード2桁の数値を入力します。
- 誤った入力を行った場合、エラー音（ピピピ）を出力しますので、キャンセルのバーコードを読ませて最初から登録願います。

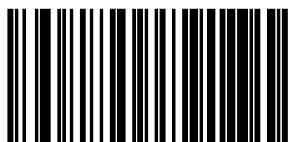
例) 最小4桁の場合 最大10桁の登録を行う場合

最小のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード04を読ませます。

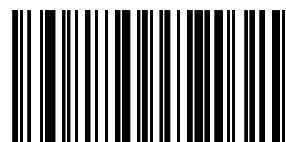
次に最大のバーコードを読ませて、次に数字のバーコード10を読ませます。



設定開始/終了



最小

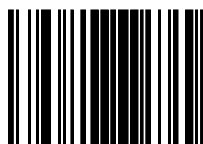


最大

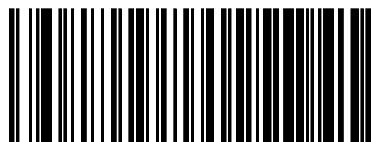


キャンセル

GS1 DataBar Limited



設定開始/終了



GS1 DataBar Limited 無効 (初期値)

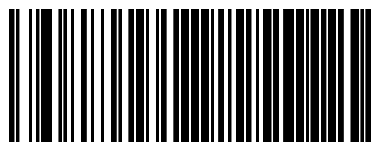


GS1 DataBar Limited 有効

GS1 DataBar Limited EAN128 エミュレーション



設定開始/終了



無効 (初期値)

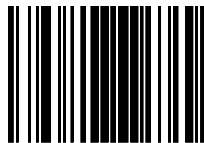


有効

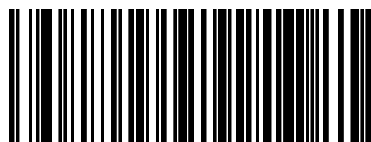
GS1 DataBar Limited デコード検証回数

読取データ的一致回数を設定します。

検証回数を増やすとデータの信頼性は高まりますが、読取速度が低下します。



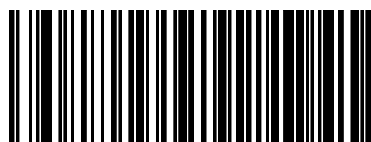
設定開始/終了



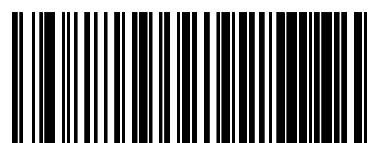
1回 (初期値)



2回



3回

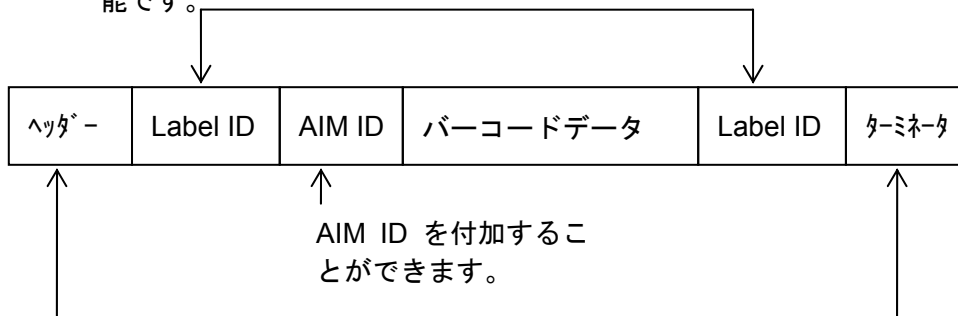


4回

6. データ編集

データ編集の概要

Label ID はバーコードデータ
前後どちらかに付加するこ
とができます。Label ID は3キ
ャラクタ (ASCII) まで設定可
能です。



20 キャラクタ (ASCII)
まで設定可能です。

ヘッダー / ターミネータ

設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。20 キャラクタまで設定可能です。20 キャラクタ未満の場合は入力後「設定開始/終了」バーコードを2回スキャンして下さい。

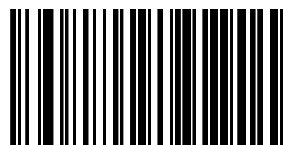
例) \$ 「2」「4」



設定開始/終了

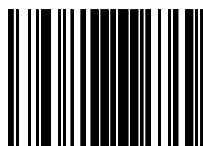


ヘッダー設定

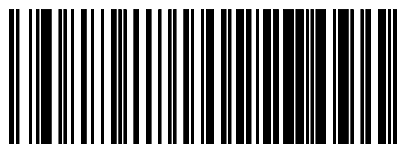


ターミネータ設定

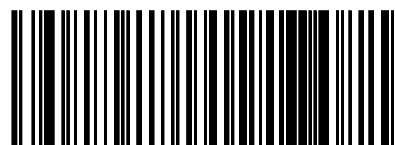
AIM ID



設定開始/終了



付加しない(初期値)

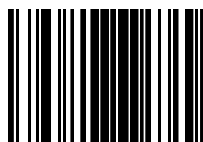


付加する

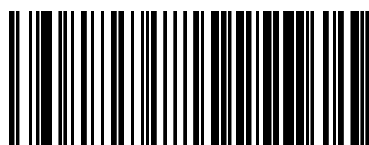
ラベル ID

ラベル ID コントロール

ラベル ID を付加する位置を設定します。



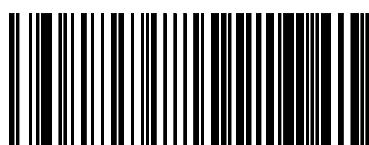
設定開始/終了



なし(初期値)



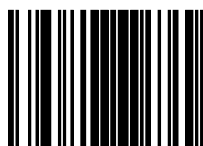
バーコードデータ前に付加



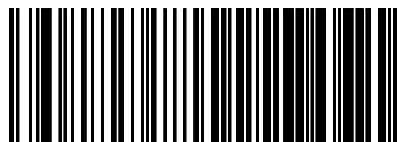
バーコードデータ後に付加

ラベル ID セット

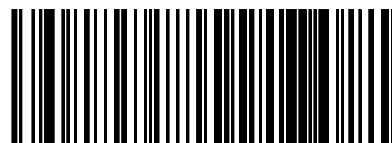
スキャナには初期状態時に 2 種類のラベルセットが用意されています。



設定開始/終了



ラベルセット 1 (初期値)

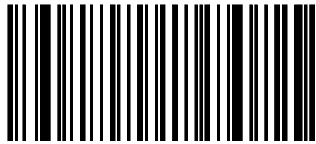


ラベルセット 2

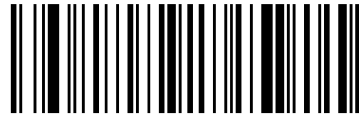
	セット1	セット2
CODABAR	%	R
CODE128	#	T
CODE39	*	V
GS1DATABAR オムニディレクショナル	R4	u
GS1DATABAR EXPANDED	RX	t
GS1DATABAR LIMITED	RL	v
GS1-128		k
EAN13	F	B
EAN13 P2	F	L
EAN13 P5	F	M
EAN8	FF	A
EAN8 P2	FF	J
EAN8 P5	FF	K
I 2OF 5	i	N
UPCA	A	C
UPCA P2	A	F
UPCA P5	A	G
UPCE	E	D
UPCE P2	E	H
UPCE P5	E	I

ラベル ID 個別設定

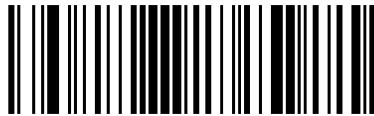
手順	操作	例			
1	「設定開始/終了」を読取ります				
2	前頁のラベル ID コントロールで ID を付加する位置を設定します	前	後	前	後
3	ラベル ID を付加するバーコードを選択します				
4	ラベル ID (例)	DB*	=C3	+	PH
5	設定ラベルを読取後、巻末の「キーパッド」を用いての「ASCII チャート」に対応した数値を入力します。	44 42 2A	3D 43 33	2B	50 48
6	「設定開始/終了」を読取ります				
7	「設定開始/終了」を読取ります				



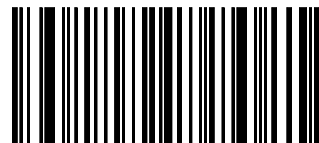
CODABAR



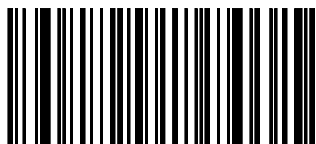
Code 128



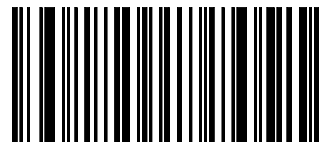
GS1 128 (EAN128)



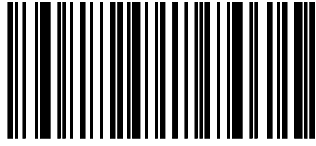
CODE39



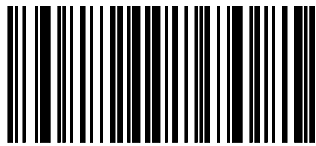
GS1DATABAR オムニディレクショナル



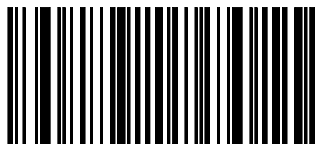
GS1DATABAR EXPANDED



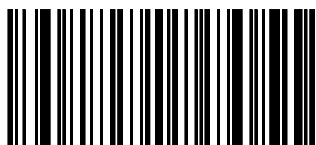
EAN13



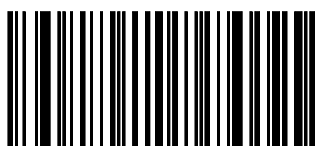
EAN13 P5



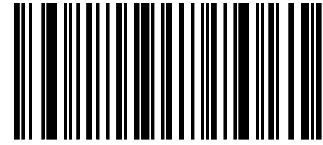
EAN8 P2



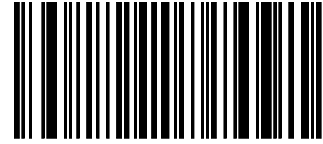
I 2OF 5



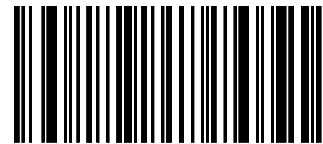
UPCA P2



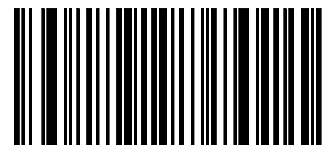
GS1DATABAR LIMITED



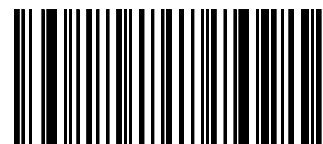
EAN13 P2



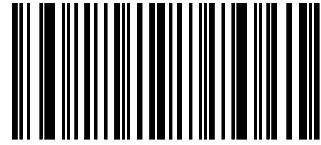
EAN8



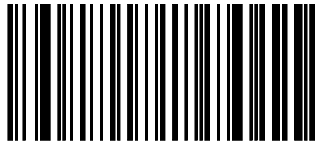
EAN8 P5



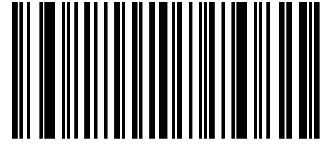
UPCA



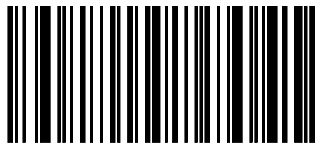
UPCA P5



UPCE



UPCE P2



UPCE P5

付録 A. LED 表示とビーパ音

表示内容	LED 表示	ビーパ音
電源 ON		高音 4 回
読取成功	緑	モノトーン
スキャナ無効 (ホストコマンドより)	点滅	-
プログラミングモード(以下の表示はプログラミングモードの場合になります)		
プログラミングモード切替時	点滅	低音 4 回
ラベル読取違い	-	低音 3 回
プログラムに続きがある時	-	高音 1 回
プログラム失敗	-	低音 3 回
プログラム終了時	-	高→低音 3 回→高 4 回

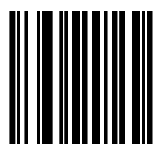
付録 B. 初期値一覧

RS-232, USB-COM 設定	
通信ボーレート (RS232 のみ設定可能)	9600
パリティ (RS232 のみ設定可能)	None
データビット (RS232 のみ設定可能)	8bit
ストップビット (RS232 のみ設定可能)	1bit
ハンドシェイク (RS232 のみ設定可能)	無効
ACK NAK (RS232, USB-COM 設定可能)	無効
ACK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	ACK
NAK キャラクタ (RS232, USB-COM 設定可能)	NAK
ACK NAK タイムアウト (RS232, USB-COM 設定可能)	600ms
ACK NAK リトライ回数 (RS232, USB-COM 設定可能)	3 回
有効/無効コマンド設定 (RS232, USB-COM 設定可能)	D / E
キーボードウエッジ, USB キーボード	
キーボード言語	米国
Caps Lock	OFF
キャラクタ間遅延	なし
機能設定	
2度読み防止時間	0.4s
スリープモード設定	無効
読取表示	デコード後
読取確認音	モノラル
読取確認音質	高音
読取確認音長さ	80ms
読取確認音量	大
読取確認 LED 表示	2s
グリーンスポット表示	300ms
バーコード設定	
EAN13	有効
EAN13 チェックデジット送信	有効
EAN13 デコード検証回数	1 回
EAN 8	有効
EAN 8 チェックデジット送信	有効
EAN 8 EAN 8 → EAN 13 変換	無効

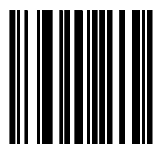
EAN 8 デコード検証回数	1 回
UPC-A	有効
UPC-A チェックデジット送信	有効
UPC-A → EAN 13 変換	無効
UPC-E	有効
UPC-E チェックデジット送信	有効
UPC-E → EAN 13 変換	無効
UPC-E → UPC-A 変換	無効
UPC-E デコード検証回数	2 回
GTIN 変換	無効
EAN / UPC アドオン	2 桁:無効 5 桁:無効
Code39	有効
Code39 チェックデジット計算	標準
Code39 チェックデジット送信	有効
Code39 スタート/ストップキャラクタ送信	有効
Code39 Full ASCII 変換	無効
Code39 デコード検証回数	1 回
Code39 桁数	可変
Code39 最小桁数	2 桁
Code39 最大桁数	50 桁
GS1 128/Code128	有効
GS1 128/Code128 チェックデジット送信	無効
GS1 128/Code128 デコード検証回数	1 回
GS1 128/Code128 桁数	可変
GS1 128/Code128 最小桁数	1 桁
GS1 128/Code128 最大桁数	80 桁
I 2 OF 5	無効
I 2 OF 5 チェックデジット計算	無効
I 2 OF 5 チェックデジット送信	有効
I 2 OF 5 デコード検証回数	1 回
I 2 OF 5 桁数	可変
I 2 OF 5 最小桁数	6 桁
I 2 OF 5 最大桁数	50 桁
CODABAR	無効
CODABAR チェックデジット計算	無効
CODABAR チェックデジット送信	有効
CODABAR スタート/ストップ キャラクタ送信	無効
CODABAR スタート/ストップ キャラクタセット	Abcd/abcd
CODABAR デコード検証回数	1 回
CODABAR 桁数	可変
CODABAR 最小桁数	3 桁
CODABAR 最大桁数	50 桁
GS1 DataBar オムニディレクショナル	無効
GS1 DataBar オムニディレクショナル EAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar オムニディレクショナルデコード検証回数	1 回
GS1 DataBar Expanded	無効
GS1 DataBar Expanded EAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar Expanded デコード検証回数	1 回

GS1 DataBar Expanded デコード桁数	可変
GS1 DataBar Expanded 最小桁数	3 桁
GS1 DataBar Expanded 最大桁数	50 桁
GS1 DataBar Limited	無効
GS1 DataBar Limited EAN128 エミュレーション	無効
GS1 DataBar Limited デコード検証回数	1 回

付録 C. キーパッド



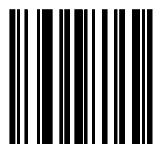
0



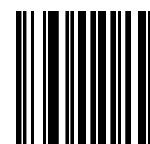
2



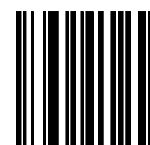
4



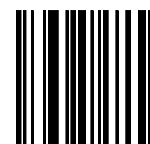
6



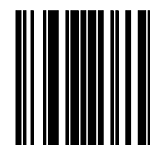
1



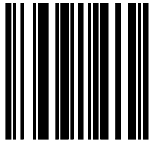
3



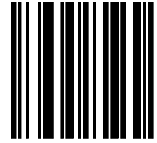
5



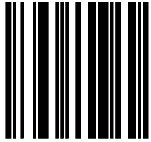
7



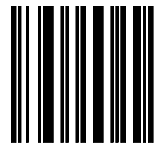
8



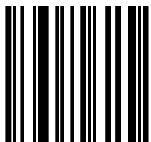
9



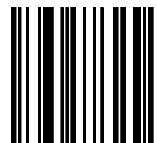
A



B



C



D



E



F

付録 D. ASCII チャート

ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.	ASCII Char.	Hex No.
NUL	00	SP	20	@	40	'	60
SOH	01	!	21	A	41	a	61
STX	02	“	22	B	42	b	62
ETX	03	#	23	C	43	c	63
EOT	04	\$	24	D	44	d	64
ENQ	05	%	25	E	45	e	65
ACK	06	&	26	F	46	f	66
BEL	07	'	27	G	47	g	67
BS	08	(28	H	48	h	68
HT	09)	29	I	49	i	69
LF	0A	*	2A	J	4A	j	6A
VT	0B	+	2B	K	4B	k	6B
FF	0C	,	2C	L	4C	l	6C
CR	0D	-	2D	M	4D	m	6D
SO	0E	.	2E	N	4E	n	6E
SI	0F	/	2F	O	4F	o	6F
DLE	10	0	30	P	50	p	70
DC1	11	1	31	Q	51	q	71
DC2	12	2	32	R	52	r	72
DC3	13	3	33	S	53	s	73
DC4	14	4	34	T	54	t	74
NAK	15	5	35	U	55	u	75
SYN	16	6	36	V	56	v	76
ETB	17	7	37	W	57	w	77
CAN	18	8	38	X	58	x	78
EM	19	9	39	Y	59	y	79
SUB	1A	:	3A	Z	5A	z	7A
ESC	1B	;	3B	[5B	{	7B
FS	1C	<	3C	¥	5C		7C
GS	1D	=	3D]	5D	}	7D
RS	1E	>	3E	^	5E	~	7E
US	1F	?	3F	_	5F	DEL	7F

